

## 名言・格言

「人の巧を取って、我が拙を捨て、  
人の長を取って、我が短を補う」

木戸孝允

他者に学んで、その優れたところを取り入れ、自分の至らざるところ、欠点を補う。そうした心掛けの大切さを説いたものだろう。

(引用：<https://serai.jp/hobby/234667> )

木戸 孝允 (きど たかよし、1833年8月11日(天保4年6月26日) - 1877年5月26日(明治10年))は、は幕末・明治初期を代表する政治家である。

藩政の中心として、幕末期の長州藩を主導し、西郷隆盛・大久保利通と共に維新の三傑と称された。松下村塾で学び、積極的に攘夷を唱えながらも、開明的な外交論を持っていたと言われる。明治新政府では五箇条の誓文を起草、版籍奉還・廃藩置県などを実現した。また、岩倉使節団に副使として参加し、欧州の立憲主義を日本に持ち帰り法整備を行った。

元の名は桂 小五郎 (かつら ござろう)。名は孝允は「こういん」と読まれることもある。

